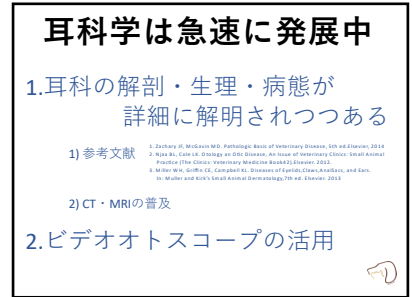


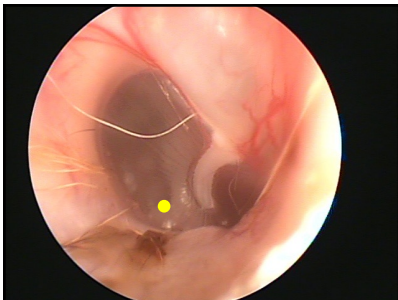
1



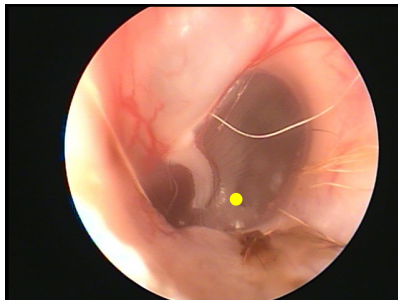
2



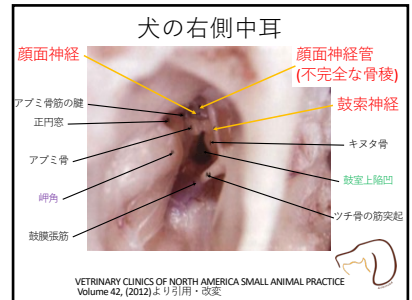
3



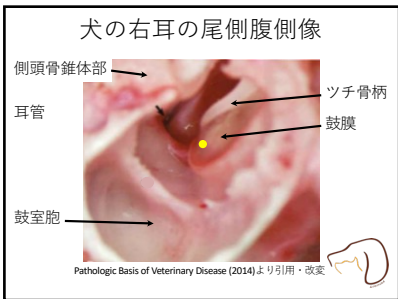
4



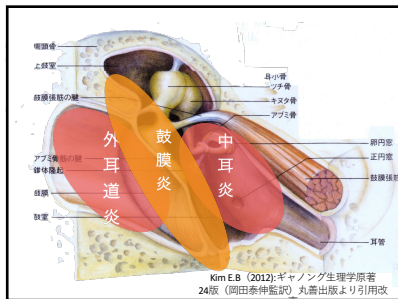
5



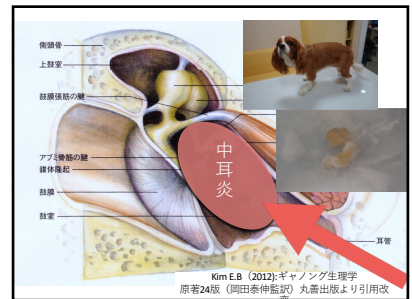
6



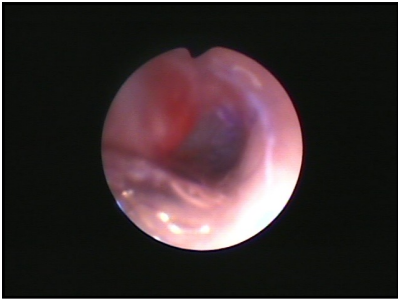
7



8



9

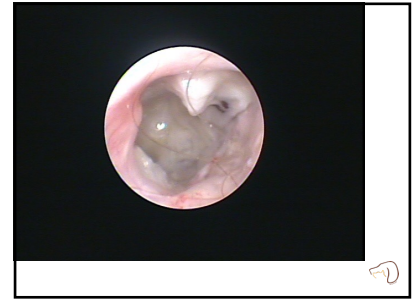


10

**耳科学は急速に発展中**

1. 原发性渗出性中耳炎

11



12

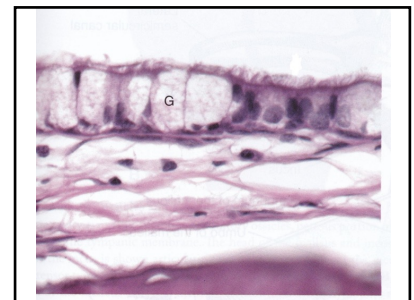
**耳科学は急速に発展中**

1. 真珠腫

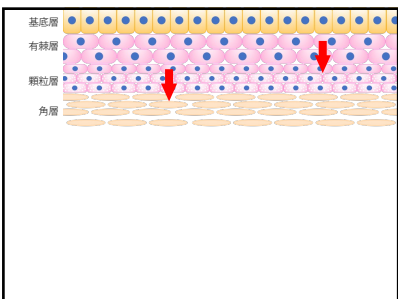
13



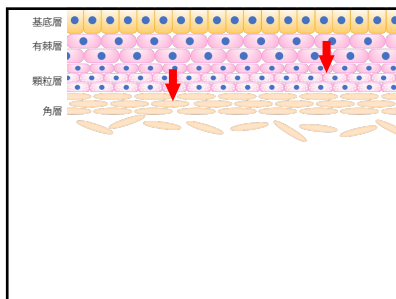
14



15



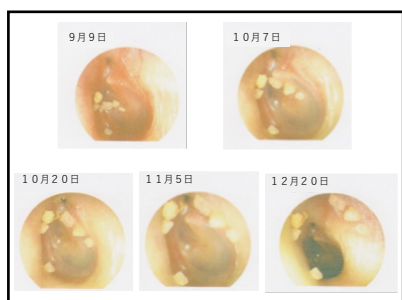
16



17



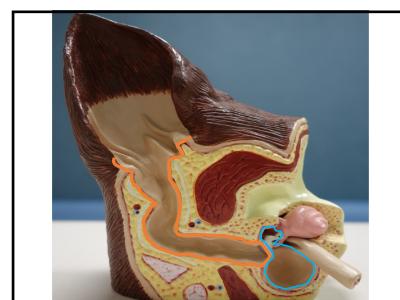
18



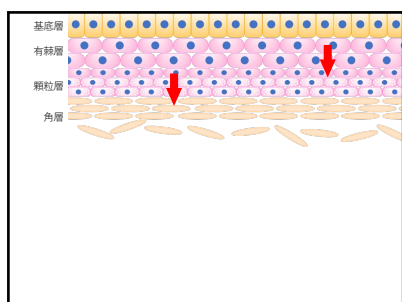
19



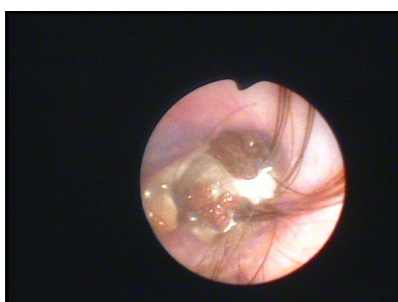
20



21



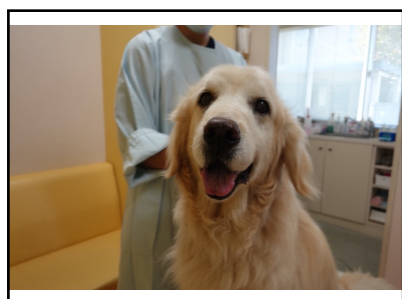
22



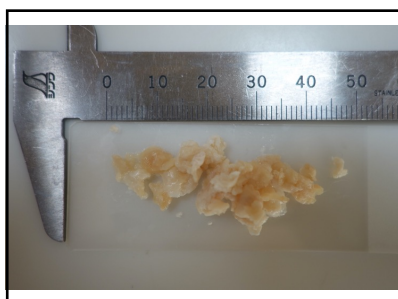
23



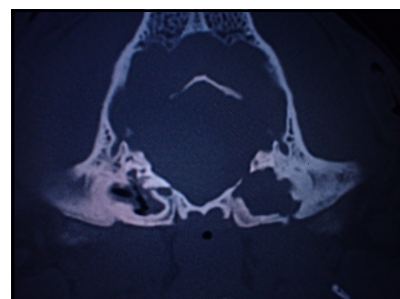
24



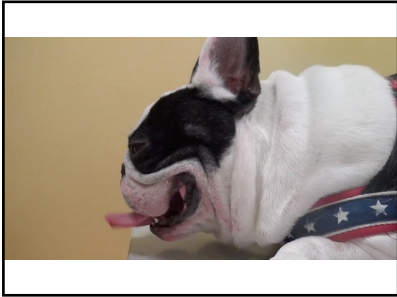
25



26



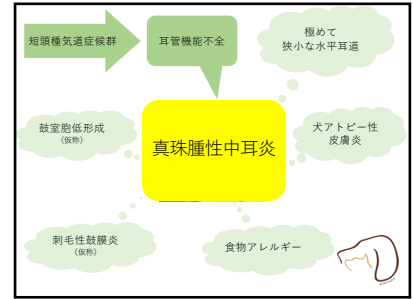
27



28



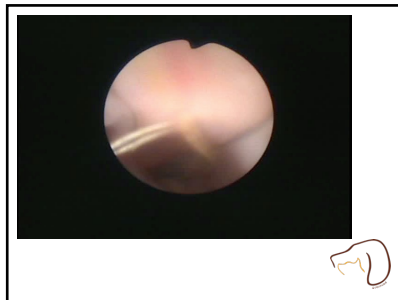
29



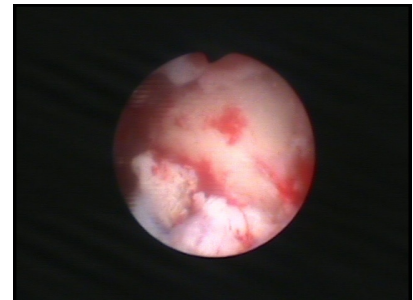
30



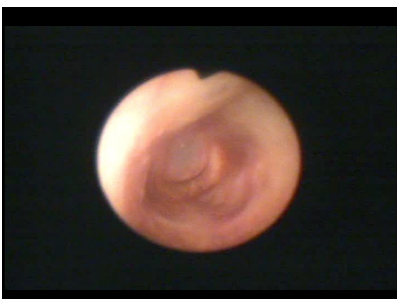
31



32



33



34



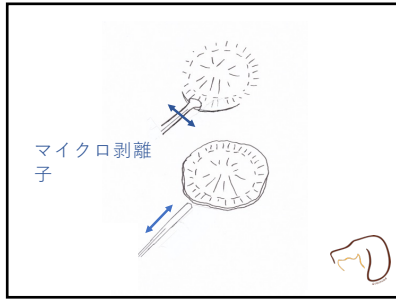
35

症例 雑種 6才 オス  
 右耳：水平耳道に耳道の8割を占める大きさの膜を認める  
 治療法：全身麻酔下、硬性鏡による耳道洗浄、  
 耳道内手術により、膜を切除  
 耳道洗浄剤、消毒液、抗炎症  
 剤点耳  
 左耳：軽度の糜爛を認める  
 治療法：全身麻酔下、硬性鏡による耳道及び鼓膜洗浄、  
 耳道洗浄剤、消毒液、抗炎症剤点耳

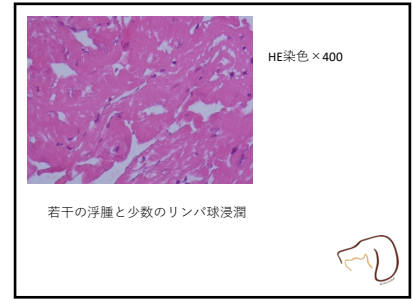
36



37



38



39

「ヒトで炎症性擬鼓膜に類似した病変としては、外耳炎狭窄患者で外耳炎を頻回に起こすと増殖上皮で閉鎖してしまうことがあります。また、鼓膜形成の手術後に再生鼓膜の外側化 (lateraization) により、鼓膜の外方移動が時々みられます。いずれの場合も、外耳道の処理を行い再度鼓膜形成あるいは、増殖上皮を除去しないと、再発します。擬鼓膜に対して外耳道壁から切除する先生の考え方に賛成です。」

山中 昇先生  
前和歌山県立医科大学  
耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授

40



41

**耳科学は急速に発展中**

2.ビデオオトスコープの活用

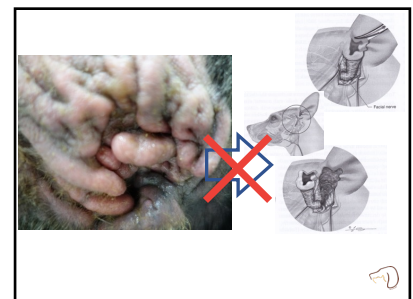
42



43



44



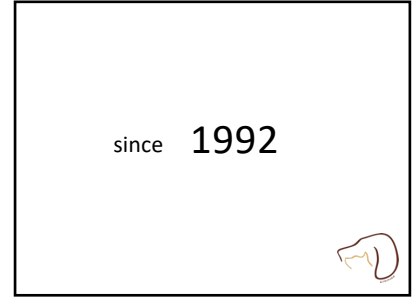
45



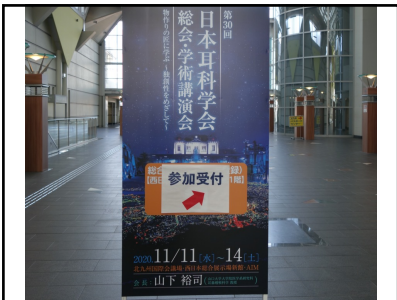
46



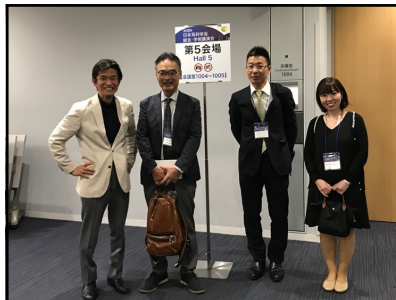
47



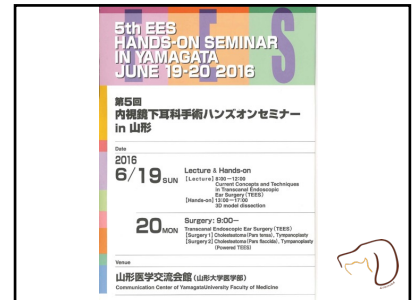
48



49



50



51



52



53



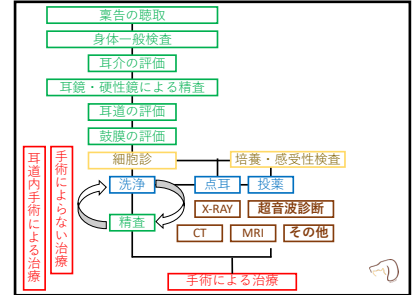
54



55



56



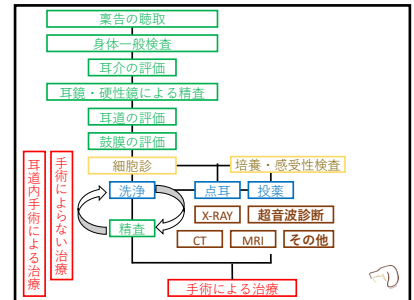
57



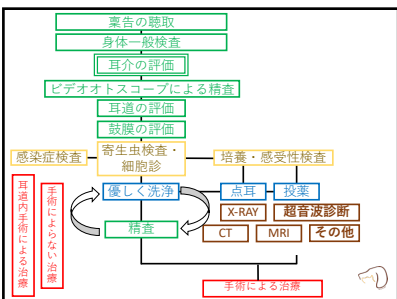
58



59



60



61

どうぶつ耳科専門クリニックからの  
**5**つのおすすめ

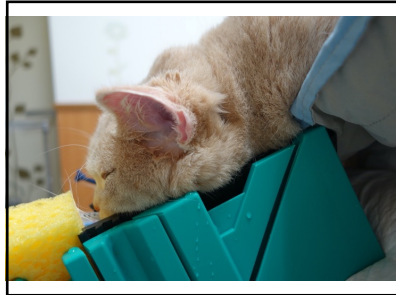
62

**1**  
伏臥位麻酔のおすすめ

63



64



65

右耳・左耳を  
効率よく診れる



66

体位変換が不要  
気管粘膜損傷 ↓  
循環器系への負担 ↓  
呼吸器系への負担 ↓  
頸椎ヘルニアへの負担 ↓  
胸腰椎ヘルニアへの負担 ↓



67

ビデオオトスコープ  
の操作性 ↑



68

中耳に薬剤が流れにくい



69

ビデオオトスコープ  
の操作性 ↑



70



71



72





73



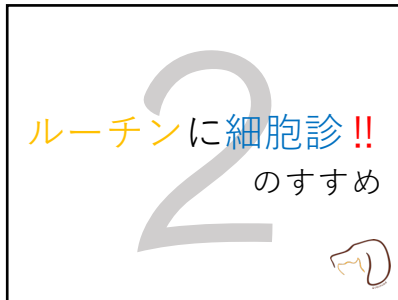
74



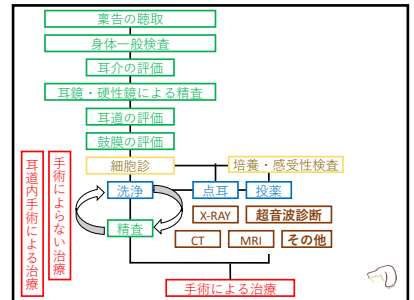
75



76



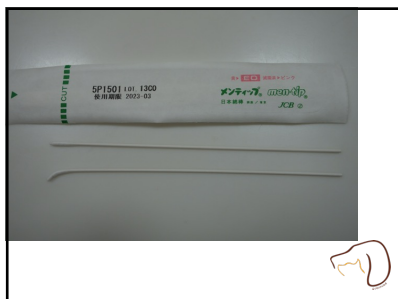
77



78



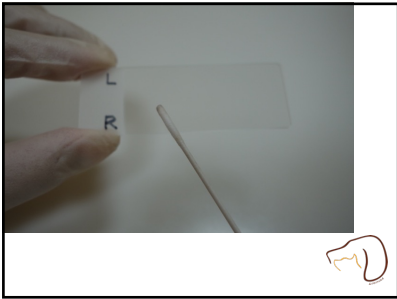
79



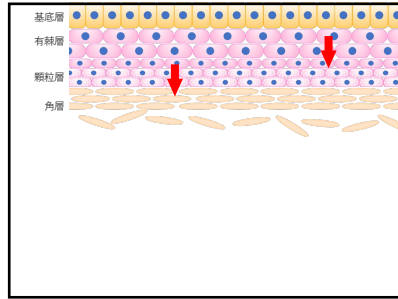
80



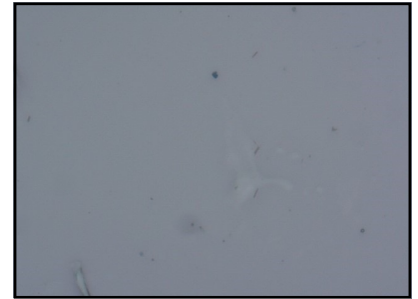
81



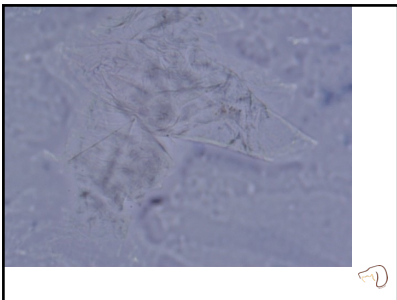
82



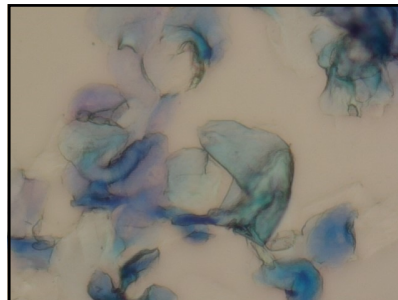
83



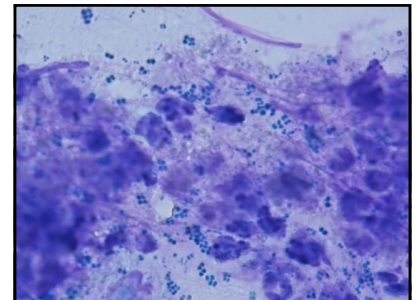
84



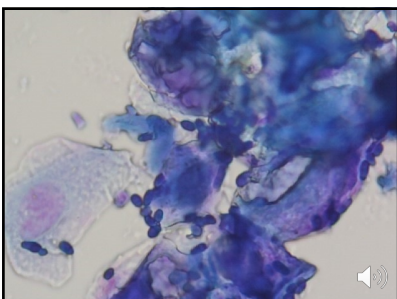
85



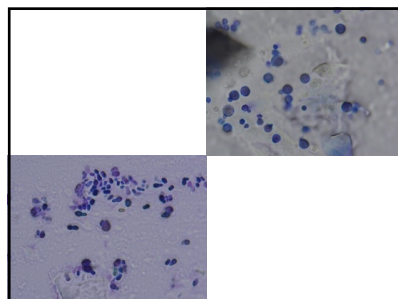
86



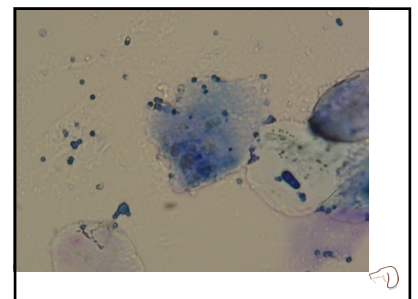
87



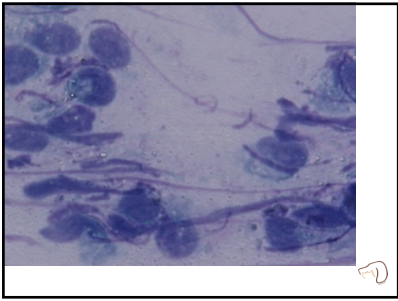
88



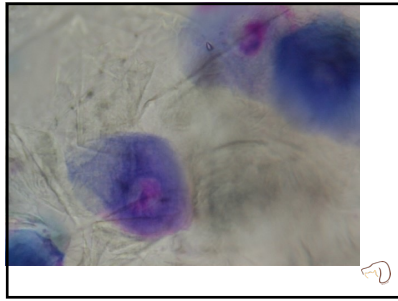
89



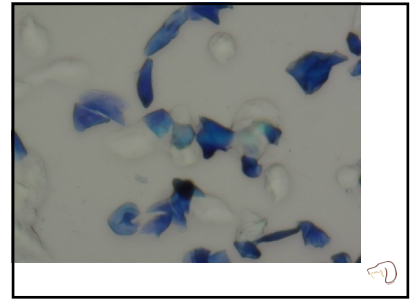
90



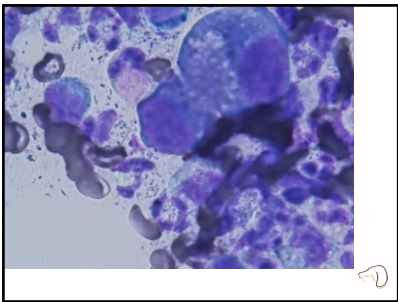
91



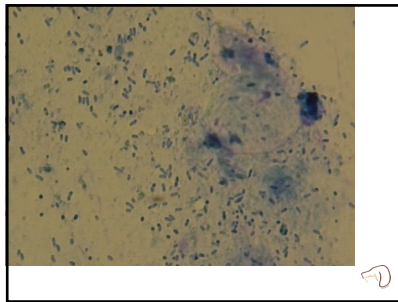
92



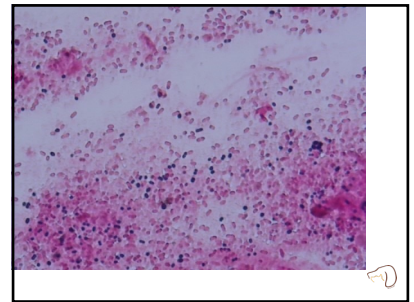
93



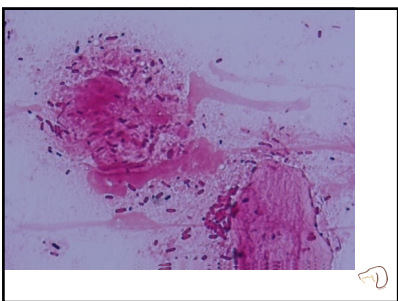
94



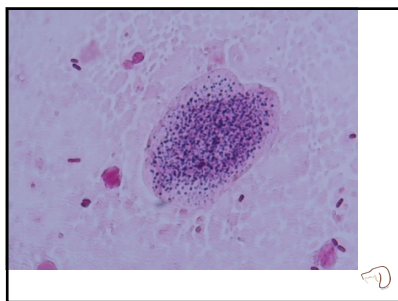
95



96



97



98



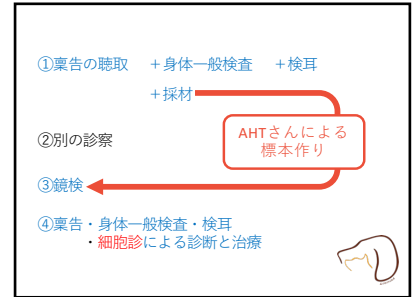
99



100

1. 細胞診
2. 細胞診
3. 細胞診
4. 細胞診

101



102

3  
持続的シリンジ洗浄  
のすすめ

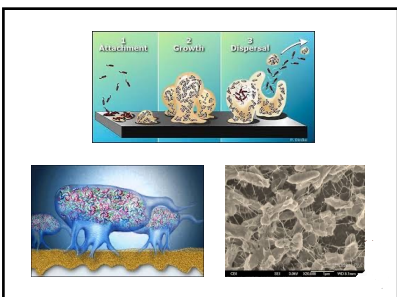
103



104



105



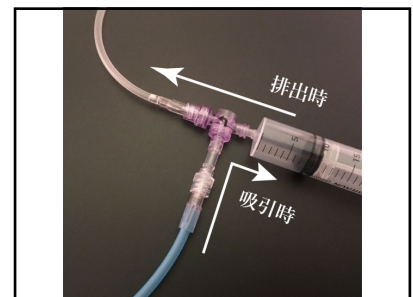
106

**バイオフィーム**

- (1)多種類の細菌がお互いに遺伝子交換、情報交換、代謝物やエネルギーのやりとりもして、多種多様な環境にも対応できるようにしている
- (2)表面に細胞外高分子マトリックス (EPS) を産生することで、よりその防護を強める。
- (3)免疫寛容物質を分泌し、生体の炎症反応を減弱し除去されるのを防いでいる
- (4)微生物が単独で存在する状態と比較して、バイオフィーム内の微生物は抗菌剤に対する耐性が最大で1000倍になるという

荒井延明、伴啓動物治療指針 Ver 3

107



108

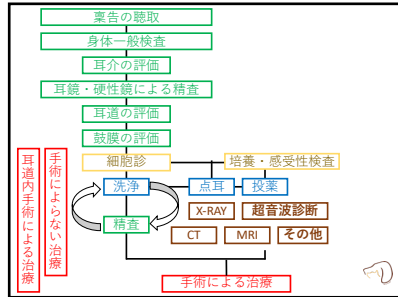


有限会社オーキッド  
 〒437-0226  
 静岡県周智郡森町一宮6017-1  
 TEL 0538-86-6185  
 FAX 0538-89-6055

デュアルチェックバルブ  
 DP-DCV2 バルブ本体 1000円  
 DP-DCVE2 延長チューブ付 1100円

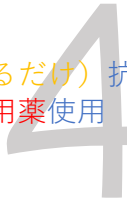



109



110

(できるだけ) 抗生剤でなく、外用薬使用のすすめ

111

SAVE antibiotics, SAVE children

世界に広がる耐性菌薬剤耐性 (AMR) 対策の強化


その経路、本当に必要ですか?




112

耳疾患の特殊性

1. 原発性感染症はまずない



113

難治性耳疾患に至る増悪因子

難治化


耳道環境の悪化 細菌の増殖、真菌の増殖

自然治癒力の欠落 { migrationの機能不全、ケラチノサイトの機能低下 鼓膜・外耳道の変化 (例: 鼓膜の硬板・融解、上皮萎縮、石灰化、骨化など)

基礎疾患 { アトピー、食物アレルギー、内分泌性、外部寄生虫、化学物質、特異性、異物、腫瘍、ゴリーク、免疫不全性、自己免疫性、他

先天性因子 { 耳中骨の過形成・低形成、分泌量の異常、狭小な耳道 (オゾン・シチゾルドック) 耳道内の過剰なる


不適切な食事、環境、耳のケア



114

耳疾患の特殊性

2. 全身的に抗生剤を与える必要はまずない




115

耳疾患の特殊性

3. MICがまず役に立たない

μg vs mg




116



117

しかし、長時間薬剤を暴露することが難しい


〈例外：オスルニア・ネブトラ〉



118

耳疾患の特殊性



4. もともと常在菌が多い



119



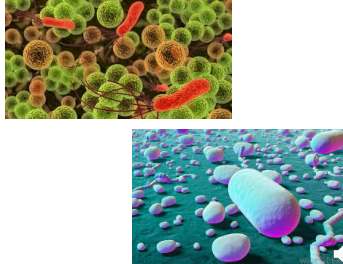


120

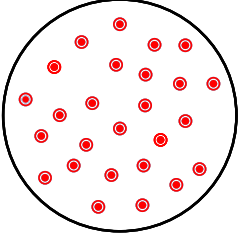

121




122


123

124

耳疾患の特殊性


5. バイオフィームが存在する



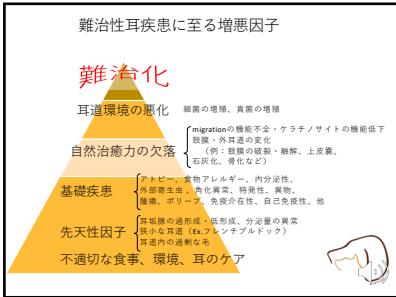
125

耳疾患の特殊性

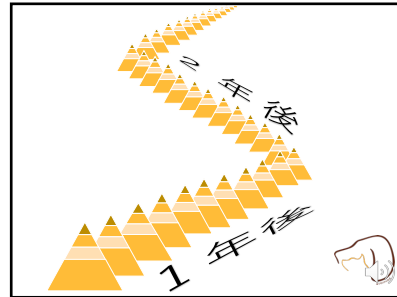
6. 基礎疾患が永続的に存在するため再発しやすい



126



127

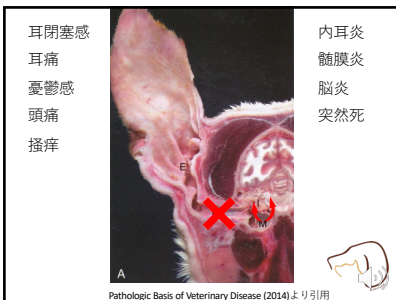


128

耳疾患の特殊性

7. 発症や悪化に気づきにくい  
 → 慢性化しやすい  
 中耳炎・内耳炎・髄膜炎に移行

129

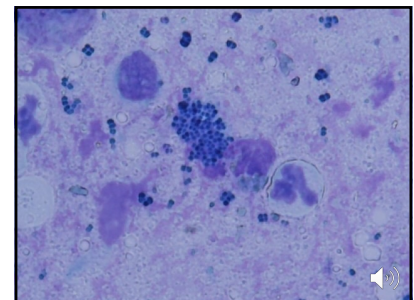


130

耳疾患の特殊性

8.最も飼い主さんに影響しやすい

131



132

おそらく、*Staphylococcus pseudintermedius*、*S.aureus*、それもメチシリン耐性株なら、  
 人獣共通感染症として、対処すべき

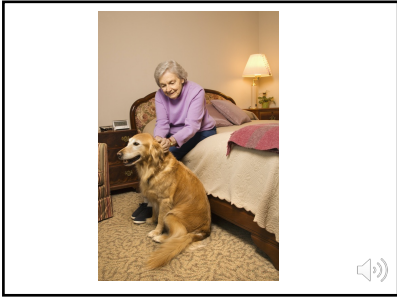
133



134



135



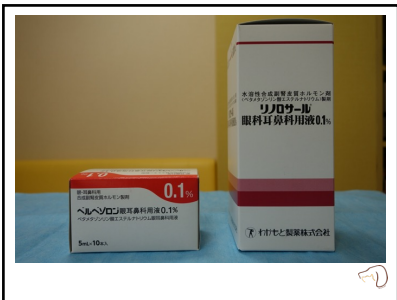
136



137



138



139

当院で実施している外用療法

140

鼓膜穿孔がなく  
外耳道に発赤、浮腫、熱感などが  
軽度で  
細胞診で  
感染を強く示唆しない  
所見である場合

141

次の薬を1日1回点耳する  
① EDTA  
点耳後数分間、頭を振らせないよう指示  
最低30分間は間隔をあける  
② 0.1%グルコジンW水  
点耳後数分間、頭を振らせないよう指示  
市販薬を用いる

142

鼓膜穿孔がなく  
外耳道に発赤、浮腫、熱感などが  
みられ  
細胞診で  
感染を強く示唆する  
所見である場合

143

次の薬を1日2回点耳する  
(例えば、朝と夜)  
① EDTA  
点耳後数分間、頭を振らせないよう指示  
最低30分間は間隔をあける  
② 0.2%グルコジンW水  
点耳後数分間、頭を振らせないよう指示  
市販薬を用いる

144



**鼓膜穿孔がみられ**  
 外耳道に発赤、浮腫、熱感などが  
**軽度**で  
 細胞診で  
 感染を強く示唆しない  
 所見である場合  
 もしくは猫の場合

145

次の薬を 1 日 1 回 点耳する

- ① EDTA
- ② 0.05%グルコン酸  
クロルヘキシジン

146

次の薬を 1 日 1 回 点耳する

- ① EDTA  
点耳後数分間、頭を振らせないよう指示  
最低30分間は間隔をあける
- ② 0.05%グルコン酸  
クロルヘキシジン  
点耳後数分間、頭を振らせないよう指示  
既製品を用いる

147

**鼓膜穿孔がみられ**  
 外耳道に発赤、浮腫、熱感などが  
**みられ**  
 細胞診で  
 感染を強く示唆しない  
 所見である場合

148

次の薬を 1 日 2 回 点耳する

- ① EDTA  
点耳後数分間、頭を振らせないよう指示  
最低30分間は間隔をあける
- ② 0.05%グルコン酸  
クロルヘキシジン  
点耳後数分間、頭を振らせないよう指示  
既製品を用いる

149

③ 比較的強力な  
水性ステロイドを併用する  
 ベタメタゾンリン酸エステルナトリウム  
 他剤と重ならない時間を指示  
 例えば、就寝前に隔日から週 2 回  
 点耳後数分間、頭を振らせないよう指示

150

☀ × 2 ~ 3 ☾

- ① EDTA  
最低30分
- ② 0.1%グルコン酸  
クロルヘキシジン
- ③ ベタメタゾン  
リン酸エステル  
ナトリウム

3分間 3分間 3分間

151

☀ × 2 ~ 3 ☾

- ① EDTA  
最低30分
- ② 0.2%グルコン酸  
クロルヘキシジン
- ③ ベタメタゾン  
リン酸エステル  
ナトリウム

3分間 3分間 3分間

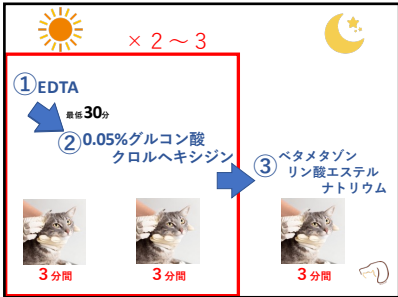
152

☀ × 2 ~ 3 ☾

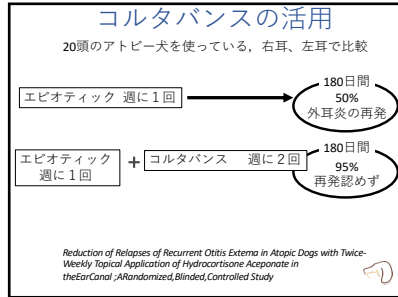
- ① EDTA  
最低30分
- ② 0.05%グルコン酸  
クロルヘキシジン
- ③ ベタメタゾン  
リン酸エステル  
ナトリウム

3分間 3分間 3分間

153



154



155

点耳のための穴あきエリザベスカラー活用 のすすめ

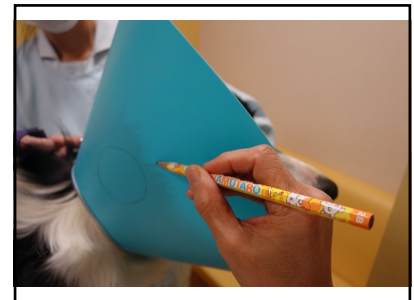
156



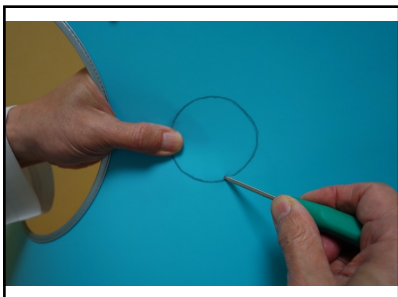
157



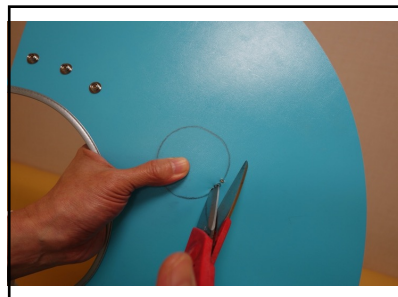
158



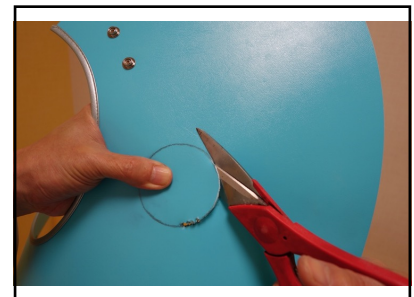
159



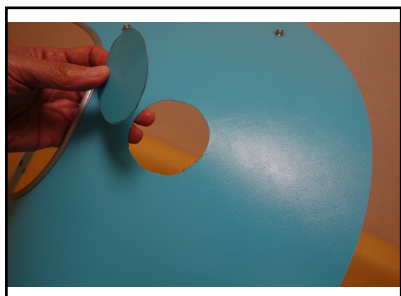
160



161



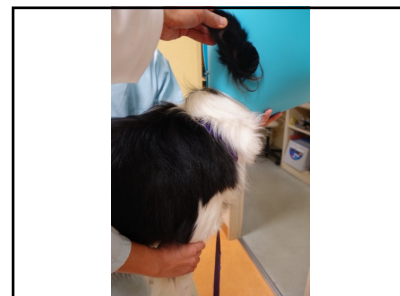
162



163



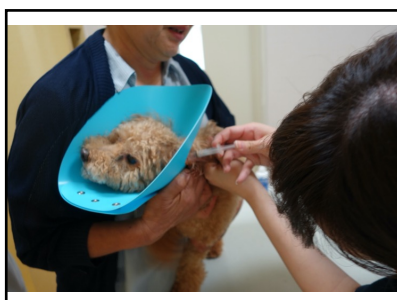
164



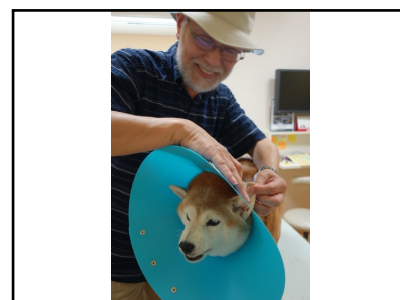
165



166



167



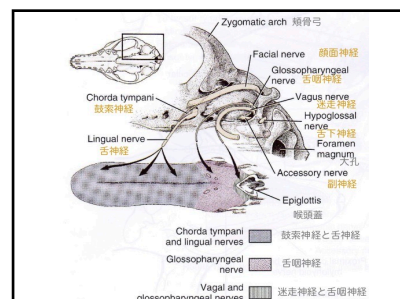
168



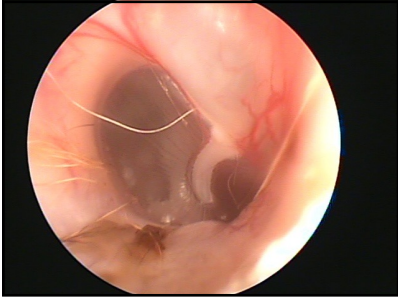
169



170



171



172



173



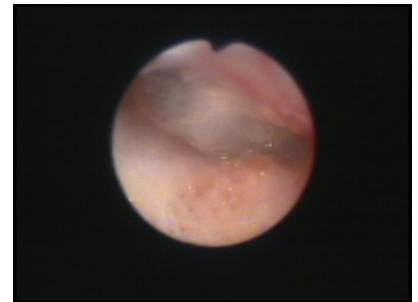
174



175



176



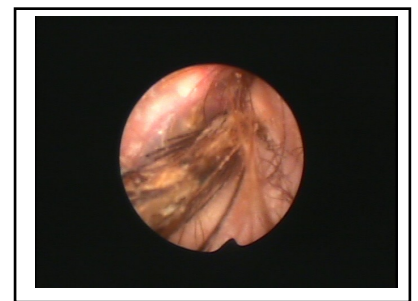
177



178



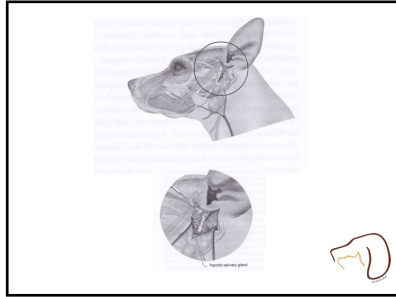
179



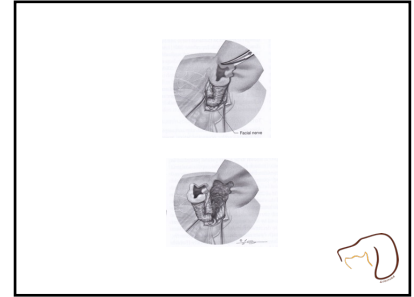
180



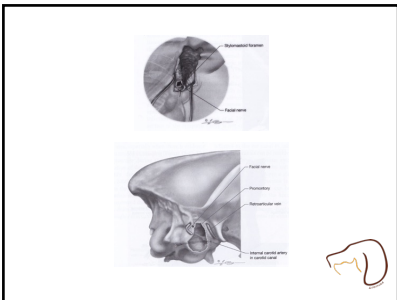
181



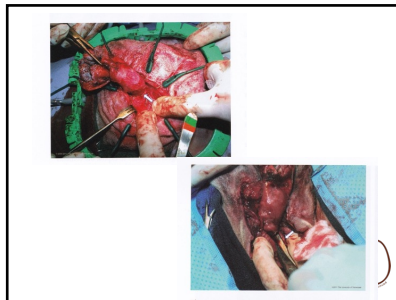
182



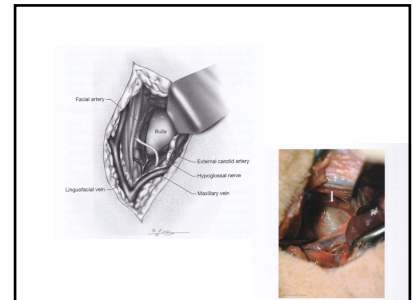
183



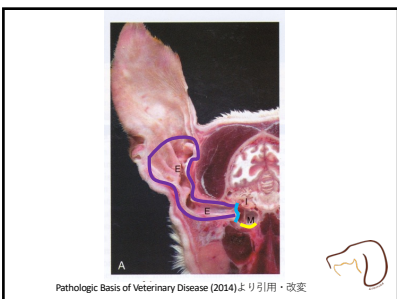
184



185



186



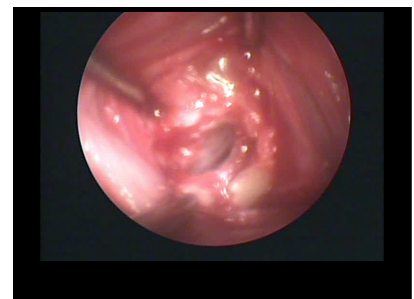
187

準清潔創 (Clean-Contaminated wound)

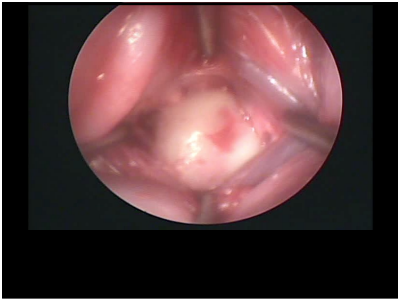
不潔創 (Contaminated wound)

汚染創 (Dirty wound)

188



189



190



191

擬  
炎症性偽鼓膜



192



193



194


症例 フレンチブルドッグ 9才 オス

右耳：水平耳道に耳道を埋める大きさの腫瘤を認める

治療法：全身麻酔下、硬性鏡による耳道洗浄、  
ポリベクトミーにより、腫瘤を切除  
耳道洗浄剤、消毒液、抗炎症剤点耳

左耳 水平耳道ほぼ閉塞状態、軽度の糜爛を認める

治療法：全身麻酔下、硬性鏡による耳道及び鼓膜洗浄、  
耳道洗浄剤、消毒液、抗炎症剤点耳



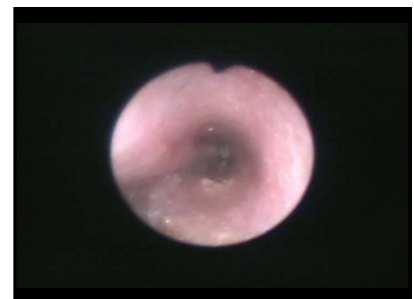
195



196



197



198

症例 柴犬 9才 オス  
 右耳：刺毛性鼓膜炎（仮称）による中等度の外耳炎  
 治療法：全身麻酔下、硬性鏡による耳道洗浄、鼓膜洗浄、耳道洗浄剤、消毒液、抗炎症剤点耳  
 左耳：刺毛性鼓膜炎（仮称）に起因したと思われる重度にいびつに狭小化した外耳道  
 治療法：全身麻酔下、硬性鏡による耳道及び鼓膜洗浄、ポリペクトミーおよびケリソパンチによる耳道内腫瘍、突起物の切除  
 耳道洗浄剤、消毒液、抗炎症剤点耳



199



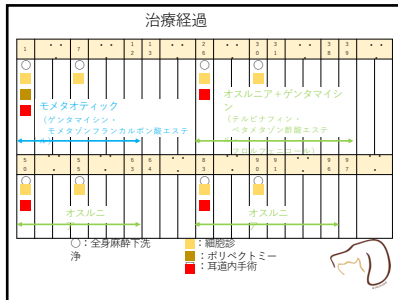
200



201



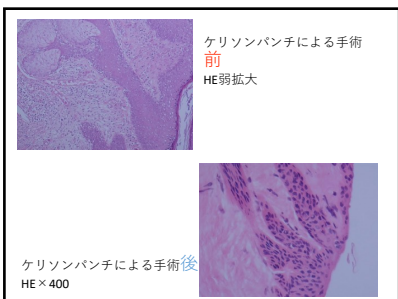
202



203



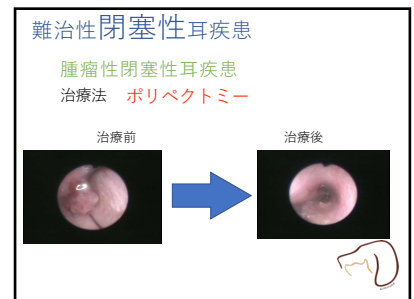
204



205



206

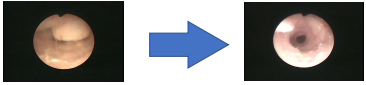


207

難治性閉塞性耳疾患

慢性増殖性上皮過形成  
治療法 硬性鏡下、ケリソンパンチによる  
耳道内手術

治療前 → 治療後



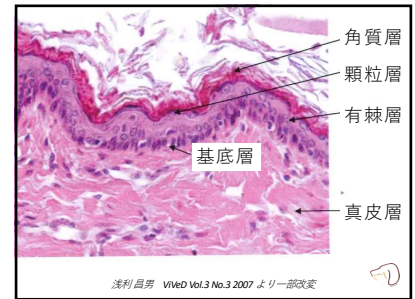
浅利昌男 VWeD Vol.3 No.3 2007 より一部改変

208

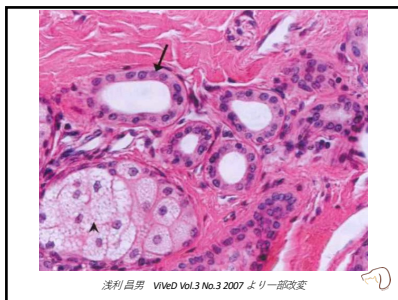
irreversible

不可逆性の

209



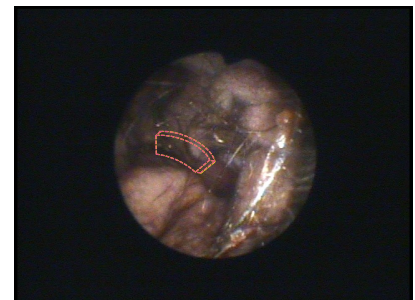
210



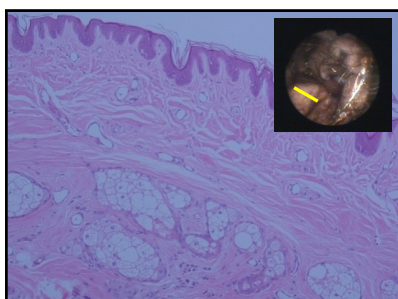
211



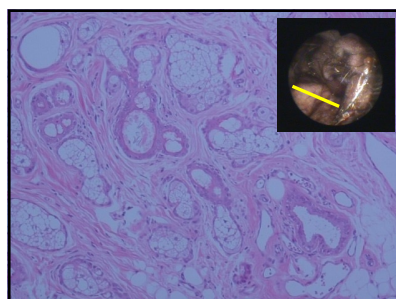
212



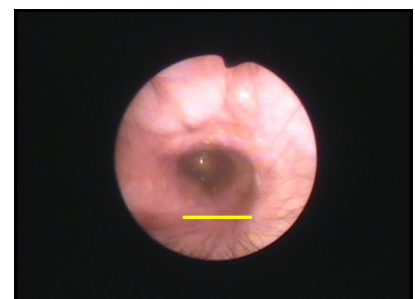
213



214

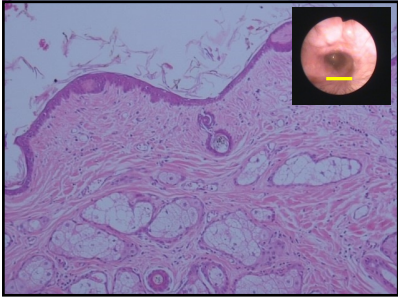


215

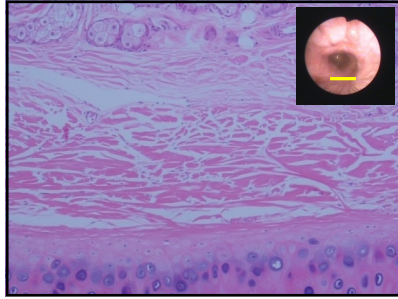


216

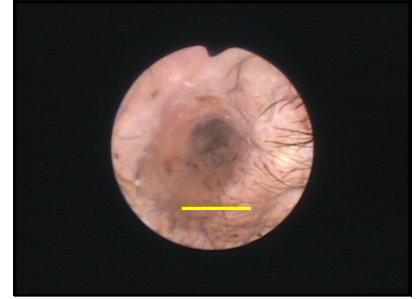




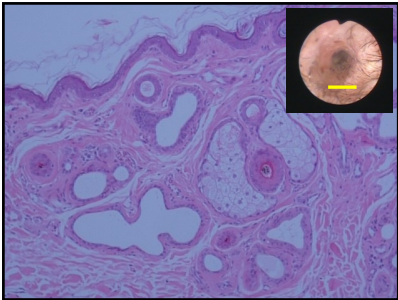
217



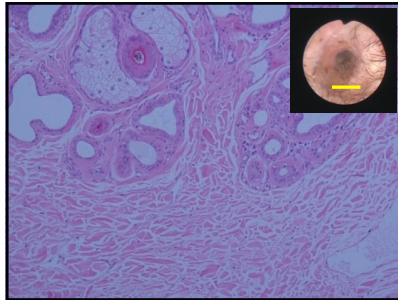
218



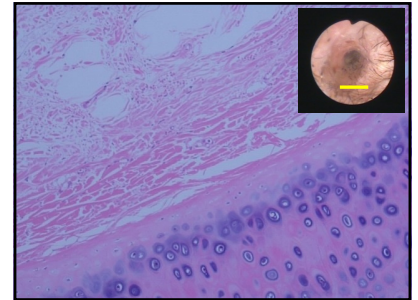
219



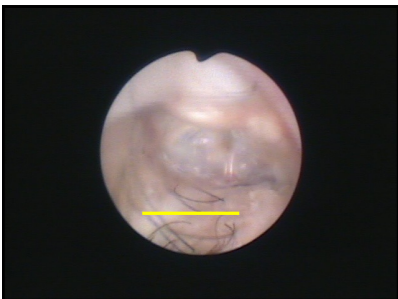
220



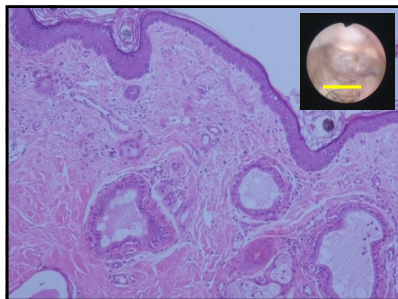
221



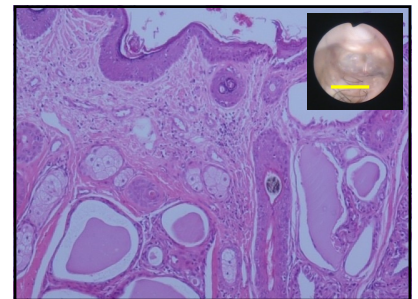
222



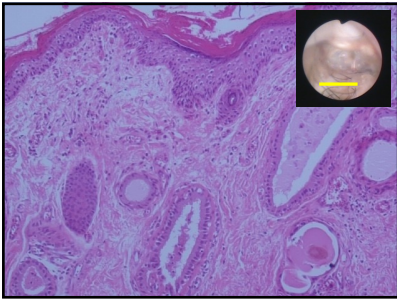
223



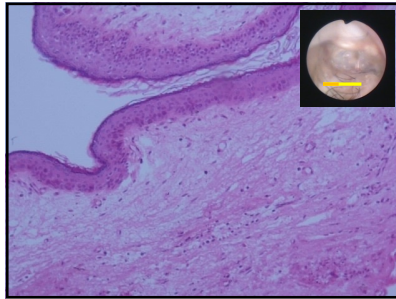
224



225



226



227



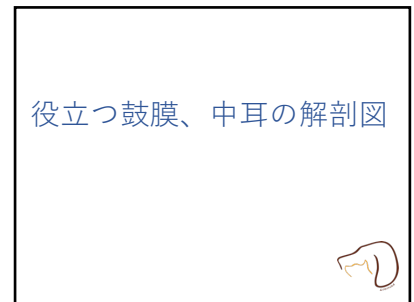
228



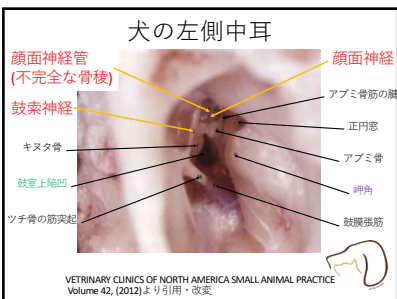
229



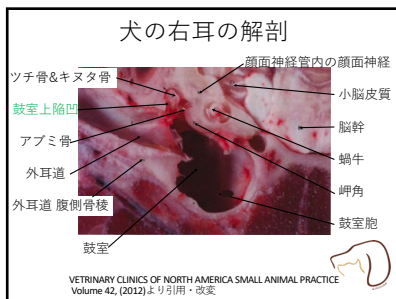
230



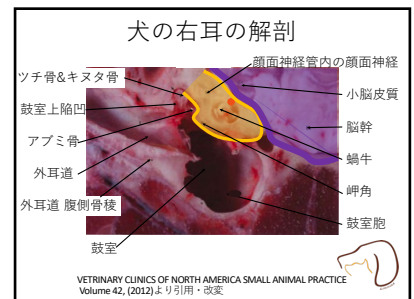
231



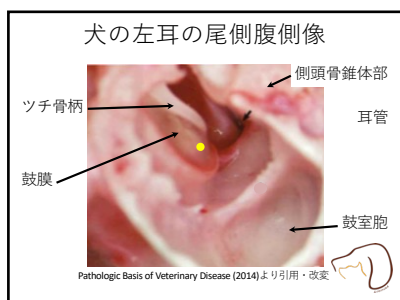
232



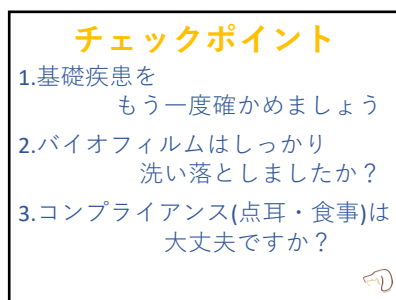
233



234



235



236